

## 第 22 回 橋 田 賞

「橋田賞」は、日本人の心や人と人とのふれあいを温かくとりあげてきた番組と人に対して顕彰助成するものです。橋田文化財団では、第1回選考委員会を平成25年12月11日に開催し、各TV局、モニター、橋田文化財団選考委員の推薦作品及び人を対象に検討を加え、受賞対象の絞込みを行いました。続いて、平成26年1月24日に第2回選考委員会、2月13日に第3回選考委員会を開催し、以下のとおり橋田賞9件の候補を選出、その結果を3月31日に開催されました橋田文化財団理事会・評議員会に報告し承認されましたため、本日の発表となりました。

- 橋田賞大賞            該当なし
  
- 橋 田 賞            「オリンピックの身代金」(テレビ朝日)  
                                平成25年11月30日(土)・12月1日(日) 21:00  
                                1964年の東京オリンピックを舞台に、昭和30年代の日本の輝かしい高度経済成長の陰で苦しむ人々と国家の対決を圧倒的なスケールと緻密なディテールをもって描き、高い支持を得た。
  
- 橋 田 賞            連続テレビ小説「あまちゃん」(NHK)  
                                平成25年4月1日(月)～9月28日(土) 8:00～8:15  
                                軽妙かつ重層的な脚本と、フレッシュなヒロインはじめ個性豊かな俳優陣や心に響く音楽などが相まって多くの視聴者に愛され、震災後の東北に対して目に見える形での支援にもつながるドラマを制作した。
  
- 橋 田 賞            「戦場で書く～作家 火野葦平の戦争～」(NHK)  
                                平成25年2月7日(土) 23:30～  
                                作家・火野葦平が戦場で克明に記した20冊にも及ぶ従軍手帳をもとに、自らの戦争責任を問い続けた火野の軌跡を見つめ、作家と戦争との関わりを考える有意義な番組を制作した。
  
- 橋 田 賞            「キッチンが走る！」(NHK)  
                                毎金曜 20:00～20:43  
                                四季折々の魅力的な食材を発見する楽しみや斬新な発想で新たな料理を創り出す料理人の技、代々食材を作り続けてきた生産者たちの思いや人情を紹介する全く新しいタイプの食べ物エンタテインメント紀行番組を制作した。

- 橋田賞 森下 佳子（脚本家／もりした よしこ）  
「ごちそうさん」（NHK）のオリジナル脚本に対して。  
「食」をテーマに、これまでとは全く異なるヒロイン像や個性の強い夫の家族や周囲の人物のキャラクターを巧みに描き、様々な問題に直面する中、ヒロインが「大阪の母」として成長していくユニークな物語をダイナミックに展開して幅広い視聴者の共感を得た。
- 橋田賞 岸井 成格（ジャーナリスト／きしい しげただ）  
わかりやすく歯切れの良い解説と、その基となる揺るぎない信念が報道番組に勢いを与え、多くの視聴者の支持を得た
- 橋田賞新人賞 綾野 剛（俳優／あやの ごう）  
本年度の「空飛ぶ広報室」（TBS）や「最高の離婚」（フジテレビ）等の演技に対して。  
役柄に対して誠実に取り組む姿勢と自然かつ柔軟な演技で視聴者を魅了し高い支持を得た。
- 橋田賞新人賞 能年 玲奈（俳優／のうねん れな）  
本年度の連続テレビ小説「あまちゃん」（NHK）の演技に対して。  
持ち前の新鮮さ、透明感、親近感で、アイドルへと成長していく少女を見事に演じ、幅広い世代に愛された。
- 橋田賞特別賞 伊東 四朗（俳優／いとう しろう）  
シリアスな役からコミカルな役まで巧みに演じ分け、多くの作品の要として活躍され、長年に亘りテレビ界に貢献してこられた功績に対して。

受賞者の方々には、以下のとおり、本賞と副賞をお贈りいたします。

- ※ 橋田賞各賞 本賞 置時計
- 副賞 賞金 100万円

## 平成25年度橋田賞新人脚本賞

平成25年度橋田賞新人脚本賞の公募を実施させていただきました。

応募作品総数156篇、日本脚本家連盟所属の作家のかたがたによる第一次審査を9篇が通過いたしました。当財団選考委員による二次審査および平成26年2月13日開催の当財団選考委員会において最終選考を行い、以下のとおり佳作2篇を選出いたしました。本年度は、入選作がございませんでした。

○ 入選作 該当なし

○ 佳作

『消えた卒業証書』 有信由美子（48歳・高松市）

『サラブレッドの瞳』 板垣 宗男（49歳・町田市）

受賞者の方には、以下のとおり、本賞と副賞をお贈りいたします。

※ 本賞 置時計

※ 副賞 佳作賞金 20万円